

新潟県議会議員

県政 けんせい

森田こうえい 通信

未来に「つなぐ！」 ふるさと胎内市と新潟県の発展のために、全力で取り組みます。

ごあいさつ

歳末の候、皆様方におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、本年4月に行われました統一地方選挙におきましては、皆様からの心温かいご支援を賜り、新潟県議会議員に初当選を果たすことが出来ました。改めまして、心からの感謝を申し上げます。皆様からの声を県政に届けるべく、新たなステージでも職務を全うしていく所存でございます。今後とも変わらぬご指導を賜りますよう、お願い申し上げます。

また、この度は森田こうえい県政通信の創刊号となります。是非ご一読いただければ幸いです。

迎春のお支度も慌ただしい時節ではございますが、どうぞ健やかに過ごしてください。



森田こうえいプロフィール

1959年(昭和34年)8月12日生(64歳) 亥年 A型 しし座

- ・胎内市北成田 農家の長男として生まれ育つ
- ・1978年(昭和53年) 県立新発田農業高等学校園芸科 卒業
- 部活 築地中〜芝農 柔道部 インターハイに出場 柔道二段

- ・2006年(平成18年) 胎内市議会議員選挙 初当選
- 胎内市議会議長、議会運営委員長を歴任
- ・2022年(令和4年) 胎内市議会議員選挙 5期目の当選
- ・2023年(令和5年) 新潟県議会議員選挙 初当選

新潟県議会 自由民主党会派に所属

◆総務文教常任委員会 ◆防災・脱炭素社会づくり特別委員会
自由民主党新潟県葉たばこ耕作振興議員連盟 事務局長

令和5年12月現在

活動報告



8月8日

【全国新任議員研修会】

東京都永田町 砂防会館



9月27日

【新潟駅前 街宣活動】

新潟県新潟市



10月19日

【砂防事業促進研究会視察】

新潟県南魚沼郡湯沢町



10月23日〜24日

【佐渡金銀山世界遺産登録推進議連視察】

新潟県佐渡市



11月8日

【JT中日本リーフセンター視察】

福島県須賀川市



11月19日

【自由民主党新潟県政経文化セミナー】

新潟県新潟市

発行

森田こうえい事務所

〒959-2642

新潟県胎内市新和町2-4
アライビル 1F

TEL: 0254-28-8987
FAX: 0254-28-8953

印刷所:
株式会社 須貝印刷

未来に「つなぐ！」

○農と食・職を「つなぐ！」 **農業支援**

○生命財産を「つなぐ！」 **防災減災の推進**

○海を「つなぐ！」 **海岸の環境保全と活用**

○暮らしを「つなぐ！」 **子育て支援**

○手に手を「つなぐ！」 **福祉の充実**

○産業を「つなぐ！」 **地域産業の振興**

県議会報告

令和5年6月 定例会



6月定例会において、令和5年7月3日（月）に私、森田こうえいは一般質問に立たせていただきました。冒頭、私は胎内市の有権者に「市民の声を県政に届ける」ことを約束し、この県議会という場に立っていること、そしてその声を質問という形で県政に投げ掛けることで約束を果たし、新潟県並びに地元胎内市の発展のために最善を尽くすことを明言してまいりました。

令和5年7月3日 一般質問（抜粋）

農業振興について

Q 新たに園芸に取り組もうとする方が、気軽に相談できる窓口は非常に重要だと考える。実際に、法人設立を目指して様々な関係機関を渡り歩いたという経験を持つ方から、新規参入者が気軽に相談できるワンストップ相談窓口が必要だという声をいただいた。新潟県園芸振興基本戦略においても、農業者からの相談対応を強化する旨が記載されているが、ワンストップ相談窓口の設置状況や相談体制の現状について伺います。

A 県では、園芸振興基本戦略の策定に合わせて、地域振興局ごとに、JA、市町村などと「推進チーム」を設置し、どの機関が相談を受けても、チームで情報を共

有し、栽培技術や支援策などをトータルでサポートできる体制を整備しております。

こうした体制を農業者にしっかりと周知し、関係機関と一体となって相談から実践まで、伴走型で支援してまいります。

Q 令和元年度以降の県営圃場整備事業の新規着工地区には、園芸作物の2割導入が推進されている。胎内市の中山間地域においても、この園芸2割の導入に取り組んでいる方がいる。自分たちが生まれ育った中山間地域の農業を次世代に受け継いでもらおうと、これまで米しか作ったことのない農家が、不慣れな園芸作物栽培に懸命に挑戦している。県として号令をかけるだけでなく、栽培技術に対する助言や販路開拓支援など、農業所得の向上につながる支援制度を充実させるべきと考えるが、知事の見解を伺います。

A 地域の気象条件に適した品目の試験栽培、ベテラン園芸農家等から助言を受けられる体制づくり、コスト低減につながる機械・施設の導入や共同化、産地による販路拡大の取組に対する支援に取り組んでいるところです。

また、今年度の施策において、圃場整備地区における園芸導入の優良事例の創出や、販売単価の向上につながる園芸品目のブランド化の取組などを支援する事業を創設したところであり、今後とも、現場の課題やニーズに即して支援制度の充実を図り、農業所得の向上につなげてまいります。

Q 米粉は、原材料に小麦を使わない「グルテンフリー」食品であり、健康に寄与すると言われていることから、国内需要のみならず、輸出も視野に入れ、アメリカやヨーロッパなど海外の需要も取り込む必要があると考えるが、知事の見解を伺います。

A 世界のグルテンフリー市場規模は、アメリカやヨーロッパを中心に順調に拡大しており、米粉関連商品の販売市場としても有望であると認識しております。

県といたしましては、県産米粉の消費拡大に向け、米粉を使用したグルテンフリーの新商品開発を支援するとともに、将来的な輸出も視野に入れ、海外バイヤーも多数来場する国内最大級の商談展示会への出展や、訪日外国人旅行者などへのPRに積極的に取り組んで参ります。

子育て支援について

Q 子育て支援というと、一般的に子育て世代への経済的負担の軽減が図られているが、一方で保育士の処遇改善が必要ではないかという声も聞かれる。子育て環境整備は、その最前線で活躍している保育士なしでは成り立たないと考えているが、その役割の重要さと比して、保育士の賃金は低い状況にある。保育士の賃金が高水準と遜色ない水準まで向上するよう、ベースアップなどの処遇改善を国に強く働きかけていくべきと考えるが、知事の見解を伺います。

A 保育士の賃金は、直近では令和4年2月に月額9千円の加算が行われるなど、国の措置により一定程度の改善がみられるものの、議員ご指摘のとおり、依然として低い状況にあり、給与水準の更なる改善が必要であると考えております。

国においては、このたび「こども未来戦略方針」を策定し、「民間給与動向等を踏まえた保育士等の更なる処遇改善を検討する」とされたことから、県といたしましては、その検討状況を注視するとともに、引き続き、保育士の給与水準の更なる改善が図られるよう、国に対し強く働きかけてまいります。

防災・減災について

Q 荒川、胎内川、落堀川の各水系は、昭和42年に発生した羽越水害後に河川改修工事が実施されたものの、工事から既に50年以上が経過しており、雑木が生い茂り、川底には大量の土砂が堆積している。大規模な自然災害に備えるため、公債費負担適正化計画で定めた実負担上限額という制約がある中でも、雑木伐採や土砂の浚渫を積極的に進めていく必要があると考えるが、知事の見解を伺います。

A 気候変動により激甚化・頻発化する豪雨災害に備え、引き続き、公債費負担適正化計画のもと、国の5か年加速化対策など有利な財源を最大限活用し、伐木や河道掘削等の防災・減災対策を積極的に進めてまいります。

Q 胎内市の村松浜では、冬期波浪の影響による海岸侵食が進行し、早期の対応を望む声が上がっている。県内の他地域でも海岸侵食が進行しているものと承知しているが、海岸侵食に対する現状と、今後どのように対策を進めていくのか知事の見解を伺います。

A 県内の海岸は、日本海側特有の冬期風浪や台風に伴う波浪により、一部の海岸を除き侵食傾向となっており、また、海岸防護が必要な保全区域延長約360kmに対し、離岸堤等の海岸保全施設が未整備となっている延長は約100kmとなっています。

引き続き、海岸の侵食状況や住宅・公共施設の被害状況、背後地の資産状況などから優先度を踏まえた効果的な海岸整備を進め、県民の財産を守るとともに、国土の保全に取り組んでまいります。

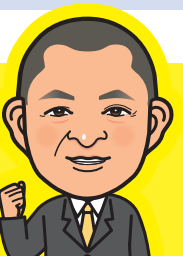


令和5年9月 定例会

10月17日（火）新潟県議会9月定例会が閉会し、107億9100万円の補正予算案が全会一致で可決されました。

このうち、エネルギー価格・物価高騰対策として29億円の地域への治水対策支援として5,000万円が充てられることとなりました。

皆さまの声を聞かせてください。
地域の困りごとやご要望が
ございましたら
お気軽にご相談ください。



森田こうえい事務所

〒959-2642 胎内市新和町2-4 アライビル1F
Tel. 0254-28-8987